

配置した部材が軸組図に表示されない

軸組図に表示させる柱や梁の作図表示範囲が設定できます！

【ファイル】 - 【パラメーター】 をクリックします。

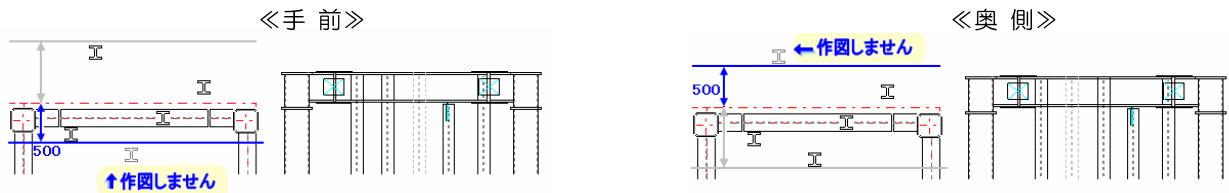
【図面作成】 - 【6.軸組図】 をクリックします。

項目名称	設定値
1 フォルダ名	一般図
2 ファイル名	軸
3 ファイル名作成コード	#2-#3-#4
4 縮尺	
5 作図間隔1 (mm)	100
6 作図間隔2 (mm)	30
7 階高名称	1 - 寸法線まで
8 階高名称位置	1 - 寸法線
9 部材表示制限 (手前) (mm)	300
10 部材表示制限 (奥側) (mm)	500
11 部材表示制限	2 - 軸間1寸以内
12 通しダイヤ表示	2 - 板厚表示
13 内ダイヤ表示	3 - 板厚表示
14 部材板厚表示	2 - あり
15 柱センターライン	1 - なし
16 梁センターライン	1 - なし
17 梁断面表示	2 - あり

「9.部材表示制限 (手前) (mm)」および「10.部材表示制限 (奥側) (mm)」をそれぞれ設定します。

通り芯から手前および奥側の設定値以内に間柱芯または梁芯が含まれる部材を表示します。

(例) 設定値 : 500 の場合



軸組図作図時、個別パラメーターで通りごとに部材表示制限の設定が可能です。



軸で入力した梁は部材表示制限外でも常に表示させたい！

「11.部材表示制限」にて、「9.部材表示制限 (手前) (mm)」および「10.部材表示制限 (奥側) (mm)」で設定した数値を参照するかどうかの切り替えが可能です。

【1.全入力データ対象】

部材表示制限 (手前)・(奥側) で設定した数値を参照します。

【2.立面入力以外対象】

軸で入力した梁に関しては、部材表示制限 (手前) (奥側) で設定している数値を参照せず常に表示します。

